

第126回 光応用・視覚技術委員会議事録

平成22年10月8日

光応用・視覚技術委員会

委員長 亀井宏行

I 日時：平成22年7月30日（金）15：00～17：00

II 場所：日本交通協会第1会議室

III 出席者：亀井委員長、佐藤、篠田、高橋、堀中、山本、各委員、木下幹事

IV 配布資料

No.126-01 第125回光応用・視覚技術委員会議事録案

No.126-02 第83回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会議事録

No.126-03 第8、9回リソグラフィ極限技術調査専門委員会議事録

No.126-04 第1回赤外線・テラヘルツ波将来技術調査専門委員会議事録

No.126-05 光応用・視覚委員会平成21、22年度活動計画表

No.126-06 光応用・視覚技術委員会名簿

V 議事

1. 亀井委員長から1号委員に就任した佐藤俊一委員（防衛医大）が紹介された。

2. 前回議事録確認

3. A部門研究調査運営委員会報告

亀井委員長から配布資料 No.126-02 に基づき、第83回 A部門研究調査運営委員会の報告がされた。

1) 技術委員会の再編について

研究経営会議議長から技術委員会の編成を2、3年に一度見直して頂きたいとの発言があった旨報告された。

2) 学術発表会における発表用資料の持込について

発表資料（USBメモリなど）の操作時の事故、件数増加への対応について引き続き審議することになった旨報告された。

3) 委員交替について

当委員会の清水委員の退任と佐藤委員の就任が承認された旨報告された。

4) 電子ジャーナル化、英文誌について

平成23年5月号から部門誌の電子ジャーナルへの移行による冊子体の縮小と、英文誌（TEEE誌）担当の割り振りを2011年からやめる旨報告された。

5) 論文発表賞A賞、A部門研究会論文賞（仮称）について

論文発表賞A賞、A部門研究会論文賞（仮称）は35歳以下、推薦する場合は同程度以下の論文（非会員可）を対象とし、12月に受賞者決定、1月に授賞することが同意され、進める旨報告された。当技術委員会が候補者無しとして辞退した平成21年度論文発表賞

A賞割当数1は次年度へ繰越されることになった。研究発表論文賞の割当数は、A賞割当数の2倍とする。また、A賞割当数については、毎年各技術委員会から推薦できるように、各1を割て、残りを発表件数にしたがって比例配分する方式に変更する予定。

6) 公開シンポジウム開催について

4月2日(金)に東京電力電気の史料館で「電気の不思議を体感しよう」というタイトルで公開シンポジウムが開催された旨報告された。

7) 技術報告の提出について

メディアデバイス・視覚システム調査専門委員会の技術報告提出について回答がなく、新しい光源とモデリング・計測調査専門委員会は神野委員から技術報告を提出するとの回答を得ている旨報告された。

4. A部門賞、研究発表論文賞の推薦について(亀井委員長)

今年度は3名に授賞できるが、リソグラフィは困難、研究会開催数も少ないことから、光の発生に関する研究会を12月までに開催し、学生の発表を促す方向で調整することとした。

5. 部門詩等の解説原稿執筆について(亀井委員長)

A部門誌2011年1月号に解説記事として「電子デバイスによる室温テラヘルツ発振・発生」(4ページ)を東工大浅田雅洋先生に執筆を依頼した旨報告された。EINAマガジンには委員会紹介記事(英文2ページ)への原稿を当委員会の3調査専門委員会へ依頼する旨報告された。写真入り原稿が望ましい。

6. 23年度全国大会シンポジウム提案について(亀井委員長)

23年度全国大会(3月)のシンポジウムの提案依頼が来ていることが委員長より報告され、各調査専門委員会において提案があれば、9月初めまでに亀井委員長に連絡することとした。また、9月のA部門大会で当技術委員会の活動を紹介するポスターを作成し提出した旨報告された。

7. 調査専門委員会の活動報告

1) 高橋委員より配布資料No.126-03に基づき、第8回リソグラフィ極限技術調査専門委員会の議事と講演(2件)および、第9回リソグラフィ極限技術調査専門委員会の議事と講演(2件)の内容が報告された。

2) 堀中委員より配布資料No.126-04に基づき、第1回赤外線・テラヘルツ波将来技術調査専門委員会議事録の議事と講演(1件)の内容が報告された。

8. 平成21、22年度の活動計画

配布資料No.126-05に基づき実績・予定が各委員会から報告された。

リソグラフィは10月1日の委員会で報告書と次期委員会について決める。次世代光源については神藤委員にきくことにする。特集論文締切は8月中旬に延期する。

9. 委員の交替について(亀井委員長)

君島幹事の任期が切れることに伴い、君島幹事には1号委員になっていただくことをお願

いする。後任の幹事については、企業の方にこだわらず、探すこととした。

10. 編修委員会(7月2日)より報告(篠田委員)

- 1) 9月の部門大会プログラムが決定した旨報告された。「光応用・視覚」関連は合同セッションになった。
- 2) A部門誌、「光源・照明の新潮流」の特集論文が23年5月号掲載となり、その後は24年7、8月号に特集論文を提案することが見込まれ、特集論文の企画の依頼がなされ、会告記事は23年4月号頃の予定である旨報告された。
- 3) 計測研究会から合同研究会(2月中下旬、鹿児島県指宿)が提案され、開催が承認された旨報告された。

11. 合同研究会の開催について(篠田委員)

計測研究会から合同研究会(2月中下旬、鹿児島県指宿)の開催の提案があった旨の報告があり、審議の結果、合同研究会を開催することを承認した。

12. 次回委員会について

日時：平成22年10月8日(金) 15:00~17:00

場所：日本交通協会第1会議室

記録 木下